

平成24年度 倉吉市小・中学生淀屋サミット

平成24年5月12日（土）、倉吉市内の児童生徒が倉吉のために自分たちができることを話し合う「倉吉市小・中学生淀屋サミット」を開催しました。

今年で4回目となる「淀屋サミット」ですが、例年7月開催だったものを5月開催としました。それは、「菜の花プロジェクト2011」の成果である市内に咲いたたくさんの菜の花の記憶のある間に、「菜の花プロジェクト2012」を始めたいと考えたからです。今回も過去3回の淀屋サミットに参加し、「菜の花プロジェクト」の取り組みを行ってきた高校生も参加しました。また、県立農業大学校、JA鳥取中央、国土交通省倉吉河川国道事務所、中部総合事務所の方も参加してくださり、アドバイスや激励の言葉をいただきました。

「淀屋サミット」の当日の様子を取りまとめましたので、ご紹介します。

1 目的

本市小・中学校の児童生徒代表が、市指定文化財であり倉吉最古の町屋建築である「倉吉淀屋」に一堂に会し、地域のために自分たちができることを話し合うことをとおして、本市に愛着をもつと共にまちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

2 期日 平成24年5月12日（土） 13:00～16:30

3 参加者

小学校 児童代表36名
中学校 各校生徒会執行部14名
高校生 7名（1年生3名、2年生3名、
3年生1名）

4 講談 倉吉市の『淀屋の光と蔭』
脇坂幸司氏（「倉吉談語の会」代表）
（場所：豊田家住宅）



【講談：脇坂氏とともに記念撮影】

5 全体会(前半)の状況

(1) 平成21年度からの取り組み経過説明

菜の花プロジェクトを始めることを決めた平成21年度の淀屋サミットの様子から昨年度の取り組みまでを事務局で簡単に説明。

(2) 各学校の取り組み報告

- ・咲くのを心待ちにしていたが、たくさん咲いてうれしかった。
- ・全校縦割り班で種とり、種まき、肥料やりに取り組んだ。
- ・肥料をしっかりとやったので身長より高い菜の花が育った。
- ・下学年の小さい子をサポートして協力して種をまいた。咲いた花を一緒に見て楽しんだ。
- ・プランターに植えて、道路や公園の入口に並べ、地域や観光客の人に見てもらった。
- ・耕したり、種をまいたり、地域の方と協力して取り組んだ。
- ・地域の人に、とてもきれいに咲いたと喜んでもらっている。今後も続けてと応援してもらっている。



【各校写真1枚を使って報告】

- ・菜の花が新しい春のシンボルになった。種とりにもがんばりたい。
- ・自分の学校以外でも、市内で菜の花が咲いた黄色いじゅうたんがあり、倉吉の学校みんなで取り組んでいるのだなと思った。
- ・今度は保育園の子どもたちにも種をプレゼントして一緒に取り組みたい。
- ・地域の人と一緒にクリーン・クリーン活動にも取り組んでいる。
- ・昨年取れた種を地域の人にも配って協力してもらった。たくさんの菜の花が咲いた。
- ・全校で種をまいたが少ししか咲かなかった。今年は肥料を増やし大きく育てたい。
- ・卒業していった先輩達が種まきや雑草取りをしてくれた。自分たちもがんばりたい。

(3) 高校生の思い発表

7人の高校生が自分たちが取り組んできた時のこと、また各学校での取り組みの様子を聞いての思いを伝えてくれました。

- ・自分が中学校の代表として関係機関に協力をお願いしに行った時、優しく接してもらった。この取り組みを支えていただいている人がたくさんいる。感謝することが大切。
- ・卒業してから学校に行っていなかったの、きれいに咲いた菜の花を写真で見えてびっくりした。
- ・目標を持って取り組むことも大切だが、それまでの過程で生まれてくるものにも目を向けて欲しい。



【先輩高校生が後輩にメッセージ】

- ・この淀屋サミットは他校との交流の場となり、他校の取り組みがわかってよかった。
- ・自分の時は肥料が不足あまり咲かなかった。高校に通学する時に見たが、今年は咲いていてすごい。
- ・国土交通省の掲示板でも、菜の花プロジェクトが紹介されていて、よくやっているなと思った。
- ・地域の人との関わりも大事だが、まずは身近な同年代の人に声をかけることもがんばって欲しい。
- ・自分たちの時はわからないことがたくさんあって、なかなか咲かなかった。今年はたくさん咲いていてすごいと思う。このプロジェクトで縦のつながりもできた。ぜひこれからも続けていって欲しい。
- ・高校の野球部が河川敷の掃除をしているのを見て、自分たちも倉吉のために何かできることがあるのではないかと考えた。校内に花を植えたならゴミを捨てる人がいなくなったことから、菜の花プロジェクトをやっいてこうということになった。自分たちの年代は来年は高校を卒業し、大学に行ったり就職したりする。県外に行くことがあっても、倉吉に帰ってきて菜の花が咲いているのを見たらうれしいと思う。学校だけでなく倉吉が一つになってこの取り組みをつなげていって欲しい。

(4) 関係機関の方からのアドバイス

- ・JA鳥取中央……菜の花が広い面になった。とてもうれしく思う。地域の方の協力と先輩から受け継いで来た成果である。今日の会は来年の成功のための第1歩。精一杯がんばって欲しい。
- ・県立農業高等学校……菜の花がよく咲いた。管理の仕方をさらに考え、次はもっと広い面にして欲しい。また学校だけでなく、もっと外に広げていってはどうか。

6 分散会の状況(倉吉淀屋)

【小学校分散会】

【先輩高校生・関係機関の人の話についての感想】

- ・たくさんの菜の花を咲かせたいと思った。
- ・きれいな倉吉になるようにしたい。
- ・苦勞した先輩がいたから、今があるんだと思った。
- ・失敗しても続けてきたことがすごい。
- ・自分も他の学校の人と友だちになりたい。

【各学校での取り組み】

- ・花が咲いてからも清掃活動をした。耕したり、間引きをしたり、肥料をやったりしたので大きく育った。

- ・地域の方、老人クラブの方と一緒に協力してまいた。
- ・菜の花プロジェクトのことを知ってもらえるように看板を立てた。
- ・種を地域にプレゼントしたり、家庭に持ち帰ったりして菜の花が地域いっぱいになるようにしたい。



【小学校部会意見交換】

【倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと】

○菜の花プロジェクトについて

- ・今年も取り組み、菜の花でいっぱいになりたい。じゅうたんのよう
に咲かせたい。
- ・耕したり、肥料をやったりしてていねいに育てたい。
- ・取り組む場所を広げる。
- ・地域の人と一緒に取り組む。
- ・とれた種をボランティアやお世話になった人、家族、地域にある
会社等にプレゼントする。そして倉吉中に菜の花を咲かせたい。

○菜の花プロジェクト以外

- ・地域のクリーン活動も一緒に取り組む。
- ・学校のイメージキャラクターをつくる。
- ・あいさつ運動をする。
- ・菜の花等を押し花にして、しおりを作ってプレゼントする。



【中学校部会意見交換】

【中学校分散会】

【倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと】

○菜の花プロジェクトについて

- ・種をまく範囲を広げる。
- ・地域の方と一緒に取り組んでふれあいを増やす。

○菜の花プロジェクト以外

- ・あいさつ運動やボランティア活動を積極的に行い、地域貢献していく。

【宣言文の内容の検討】※下記内容に決定

すべての小中学校が地域と協力して、

つなげよう黄色いじゅうたんと地域の輪

活動を進めていきます。

7 全体会(後半)の状況

全体会の話し合いで今年度下記のことに取り組むことが決定。

【全小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

※菜の花プロジェクトについて

黄色いじゅうたんのように咲かせる

- ・ていねいに育てる
(草とりや肥料をやることなど)
- ・種をまく範囲を広げる。
- ・地域の人と一緒に取り組む

【各小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

(それぞれの学校で検討して取り組む)

- ・とれた種を家族や地域の人に配る。
- ・菜の花を押し花にしたり、しおりにしたりする。
- ・あいさつ運動に取り組む。
- ・地域の人と街をきれいにする。
(地域清掃にも取り組む。)
- ・ボランティア活動を行い、地域貢献していく。

8 倉吉市小・中学生淀屋サミット宣言



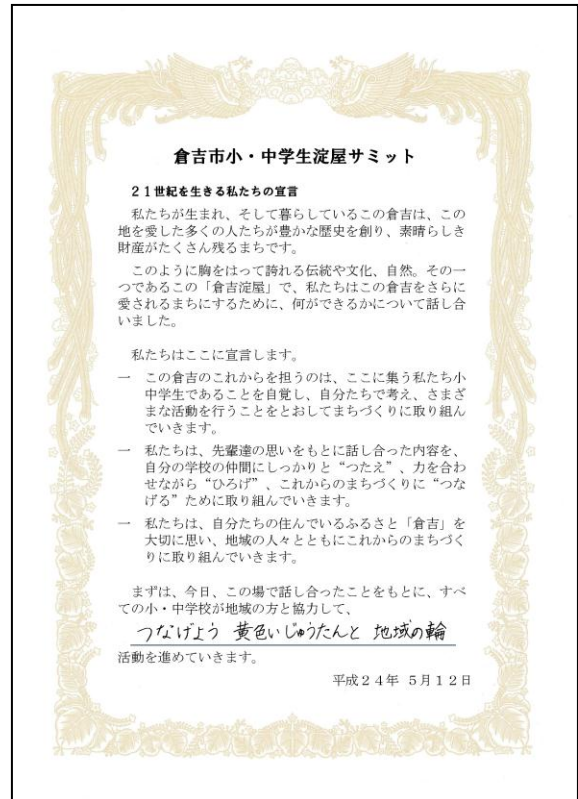
9 激励メッセージ

・国土交通省倉吉河川国道事務所

倉吉のことを考え、熱心に議論していた。高校生とのつながりも感じた。地域の人に応援してもらいながら、自分たちでよくしていこうと取り組んでいくことがすばらしい。国交省もできることは精一杯応援していく。

・中部総合事務所県民局

今日の話し合いの熱気はすごかった。感銘を受けた。これからも横、縦、斜めのつながりをつくり倉吉でこの取り組みがもっと広がっていけばよいと感じた。



【21世紀を生きる私たちの宣言】

10 児童生徒の感想

(小学生)

- ・地域の人たちのつながりをもっともっと大切にしていきたいと思ったし、もっと黄色いじゅうたんを増やしていきたいと思った。
- ・いろいろな学校の人が、それぞれの学校のやり方で地域の人と交流していてすごいと思った。
- ・他の学校の菜の花の写真を見ると、自分の学校よりもたくさん咲いている学校がいっぱいあったので、すごいと思った。学校に帰ったら、みんなにわかりやすく説明したい。
- ・今日のサミットで、学校だけでなく家のまわりや公園のまわりなどに菜の花を植えたいと思った。
- ・たくさんの意見が言えたので、学校代表で来てよかった。
- ・これからも菜の花の種をまいて、きれいな倉吉にしたい。
- ・わたしも先輩のように、卒業しても学校の菜の花を見に行きたいと思った。

(中学生)

- ・自分たちでいろんな意見が出せて、この会が良くなった気がしてうれしかった。
- ・他の小・中学校の取り組み内容を詳しく聞けた。これを参考にして、倉吉をもっと明るくしていきたい。
- ・他校の取り組みが聞けて良かった。倉吉はすばらしい街だということが分かった。
- ・いろんな中学校の人と関わってとても楽しかった。また、このような話し合いをしたい。
- ・他の学校の取り組みが分かった。他の学校に負けないように菜の花プロジェクトもがんばろうと思った。

第4回となる今回の「淀屋サミット」は、倉吉市内の小・中学校でたくさん咲いた菜の花が、実は先輩達の思いをつないできた成果であることを自覚することのできる会でした。そして、地域の人とのつながりをさらに強いものにして、一緒に取り組んでいこうという思いを新たにすることができました。

多くの方の応援を受けて、今後さらに各学校のリーダーとして取り組んでいこうという自覚が深まりました。今後各学校に持ち帰り十分内容を検討し、「菜の花プロジェクト2012」をスタートさせていきます。